

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 テイレシアスの食卓——河井健司
- 42 大往生考
- 51 西風
- 59 交差点——読者の声・編集者の声

- 80 金融の世紀——黒木亮
- 88 皇室の風——岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 新・大学評判記
- 94 本に遇う——河谷史夫
- 96 をんな千一夜——石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし



運転禁止命令は解除された。経産省は前のめりだが、肝心の新潟県は県知事と地元新聞が賛否で激しく対立。思考停止の岸田官邸が混乱に拍車をかける。不安が募る住民を置き去りにした狂騒曲が鳴り響く。(110頁)

- 98 社会・文化●情報カプセル
- 100 在日イスラム界で「過激思想」の懸念
- 102 災害派遣医療隊「抜本改革」が急務——被災地要望との「乖離」が鮮明に
- 104 画期的「肥満治療薬」が使えない日本——厚労省の失態と医師の「新利権」
- 106 JAZZ「アケタの店」の半世紀——世にも稀なる「極小音楽空間」
- 108 能登被災地「棚田復旧」を阻む者
- 110 能登被災地「棚田復旧」を阻む者
- 110 東京電力「柏崎刈羽原発」——再稼働するのか

- 60 米雇用統計「強さ」の謎解き——投資家が知るべき「新情勢」
- 62 「資産運用立国」熱狂の危うさ——金融界の「治らぬ悪弊」に御用心
- 64 中部電力「林社長続投」の全内幕
- 67 連載「伊藤技術系敗北」の衝撃
- 68 連載「クロズアップ」南方健志「キリンHDD次期社長」——磯崎院政「ぬるま湯経営」を踏襲
- 69 みずほ「楽天支援」の底なし沼
- 70 ■三木谷融資「膨張」木原社長の重罪
- 71 サッポロHDDが物言う株主に「完敗」——超優良不動産「売却」でも続く苦境
- 72 NTTは「能登」を見棄てる
- 74 ■手抜き震災復旧「が示す日本の危機
- 74 経済●情報カプセル
- 78 連載「地方金融の研究」JA宮崎中央——「全県統合」でも描けぬ未来
- 82 トヨタの宿痼「不正」は治らず——章男グループ支配の逆効果
- 84 あおぞら銀行に再び「公的資金」か
- 86 ■最終赤字「甘い予想」と苦い現実
- 東京エレクトロン「中国偏重」の罨——業績絶好調に潜む「転落リスク」

年明けまで社長交代が既定路線だった。まさかのどんでん返しで林欣吾が続投に。水野＝林の事務系が中電を牛耳る事態で、「電力供給の枠組みは一気に変わる可能性も」(関係者)。業界全体が衝撃の抗争劇だ。(64頁)



4月補選で東京15区からの出馬説。それより有力なのは、次の総選挙での国政復帰説。都知事を巡る動向を、岸田周辺は珍しく警戒する。総理の座を脅かす者が他に無い中、唯一の「まさか」だからか。(48頁)

- 44 政治●情報カプセル
- 46 裏金問題「連座制導入」は無理筋
- 48 ■世論に媚びる与野党と「令和臨調」
- 48 岸田に差す「小池」の影
- 49 ■「次」を狙って蠢く女たち
- 52 連載「政界スキャンダル」ゴッドマザー「死去」安倍政治の終焉
- 54 岸田「夏の訪朝」は実現するか
- 55 ■政権浮揚「禁断の一手」の行方
- 56 泉房穂「救民内閣」の大風呂敷——野党がすぎる「新トリックスター」
- 58 連載「罪深きはこの官僚」青柳肇「防衛省整備計画局長」——脆弱「サイバー」防衛の呑気な司令塔

米国同盟の崩壊

——日欧韓が直面する一大事

- 3 連載「巻頭インタビュー」ダン・アリエー——企業不正「脱却」の処方箋
- 6 米民間軍事会社が「急成長中」
- 12 ■中露との代理戦争「が追い風に
- 14 EUと米テック企業の「黒い結託」——非正規労働者「不当搾取」を推進
- 16 ナフリマイ「抹殺」の真因
- 18 ■プーチンの焦りと「粛清の嵐」
- 18 WORLD●情報カプセル
- 22 カリブ海で疎まれる「英王室」——連邦王国「離脱予備軍」が続々
- 24 中東紛争で「独り勝ち」の中国
- 28 ■覇権拡大「を阻めない米
- 28 欧州を悩ます「親露国家」の広がり——震源「ハンガリー」の「トランプ願望」
- 30 激化する北極海「覇権争奪戦」
- 32 ■中露の脅威にどう対抗するか
- 32 ミャンマー「徴兵制」で沈む軍政——若者離反で一段と窮地に
- 34 北朝鮮を蝕む毒素「市場経済」——新興富裕層が体制の不安要因に
- 36 習近平側近「三派」の権力闘争——文化大革命前後と似た様相
- 38 連載「現代史の言霊」三月の選挙——ソ連人民代議員大会選挙(一九八九年)

深刻なのは次の米大統領が誰であれ、軍事同盟の弱体化は止まらないことだ。トランプのNATOへの脅しは、米国民の本音。民主主義陣営は苦しい軍拡を迫られ、米国は撤退を続ける。秩序はさらに混沌へ。(6頁)

